

『橋の上を渡りたい』

2歳児 5月 神功こども



砂場に空いていた穴、そこに板を持ってきたA児。橋の上を渡りますが、ゆらゆらして穴の中に落ちてしまいます。

☆子どもたち一人一人の興味ややってみたい、という思いを大切にしながら見守っています。



なか、なか・・・

「なか、なか・・・」と言いながら板を動かしますが、うまくできません。すると、周りを見渡し、別の板を見つけ、運び出しました。



自分のしたいことがどうしたらできるのか考えようとする気持ちや周りを見る力、必要なものを選ぶようとする力に繋がっています。



持ってきた板を穴の上に置くと、端から端までつなげることが出来ました！A児は『見て！』というように嬉しそうな顔で側にいた保育者に振り向ききました。


☆A児の「出来た！」という嬉しさを一緒に感じ、「できたね」と喜びました。自分でやってみようとする意欲や考えようとする力を少しずつ育てていけたらと思っています。



A児は何度も嬉しそうに渡って遊んでいました。その様子を見たB児も遊びに来ていました。



★一見難しそうなことでも、子ども達は子どもたちなりにいろいろなことを考え、遊びの中で学んでいます。遊んでいる姿を側でよく見てみると、こんなこともできるようになったんだと嬉しい成長を感じることもあるかもしれませんですね。

★保育者の思い  子どもの育ちや学び ★家庭だったら